

中瀬 有紀



The MAC Cosmetics Viva Glam Party with Nicki Minaj, Ricky Martin, and Benny Banassi at Stage 37 in New York City on February 15, 2012, 8:30 pm - 3:00 am, Invite Only

「M・A・C ビバ グラム」は、売り上げの全額が「M・A・Cエイズ基金」(世界66カ国の国と地域でHIV/エイズと共に生きる女性、男性、そして子供たちをサポートする組織)に寄付される、M・A・Cコスメティックが1994年に設立した化粧品のシリーズです。2012年春、新たに歌手のニッキー・ミナージュとリッキー・マーティンをスポークスパーソンとして招いた新生「M・A・C ビバ グラム」がデビューし、その新製品誕生のお祝いと引き続きHIV/エイズに苦しむ人々の生活をサポートすることの宣言のために、イベントが行われました。

イベントのデザインと施工を請け負っていたのは、ニューヨーク、パリとミラノを拠点に、ファッション、イベント、パーティと多岐に渡りサービスを提供する、総合制作会社のSPEC Entertainmentです。仕込みとリハーサルの間、社員はもちろん、契約スタッフもほぼ全員「SPEC」と書かれた黒のTシャツもしくはジャケットを着用し、SPEC Entertainmentが制作を請け負っているという統一感が見受けられました。そして、その統一感は美術と照明デザインにも見られます。光を最大限に生かした装置と、装置に命を与える光は、2つの部署が1つの目的を共有し、その目的のために協力している背景と彼らが共に費やした莫大な時間が明らかでした。

## Party in NYC

照明デザイナーはShawn Kaufmanさんです。メイン会場の使用器材は舞台前明かりのETC Source Four<sup>®</sup>、セットあてのPhilips Color Kinetic ColorBlast 20台、客あてMartin Atomic 3000 DMX<sup>™</sup> 4台、そしてムービング VARI\*LITE 40台 (VLX Wash Luminaire 5台・VL2500 Spot Luminaire 15台・VL2500 Wash Luminaire 8台・VL3500 Spot Luminaire 12台)で、ほとんどのライトが常に動いているという印象を受けました。照明卓はgrandMA2 full-sizeです。また、過密スケジュールでの設営を助けていたのは、CAST Softwareのwysiwygによる事前プログラミングとレンダリングです。Shawnさんが事前にwysiwygによってバーチャルに作成したムービングライトのキューはgrandMA2 full-sizeに接続され、目の前でリアルとなります。

「M・A・C ビバ グラム」のイベントは、SPEC Entertainmentスタッフ間の密なコミュニケーションと、バーチャルとリアルの間で抽象を具体化する器材とテクノロジーの融合がもたらした総合デザインであり、「統合」デザインでもありました。作品を前にして私は、共に過ごす時と関わりによって個の視野狭窄が補われて行く「統合」を実感していました。